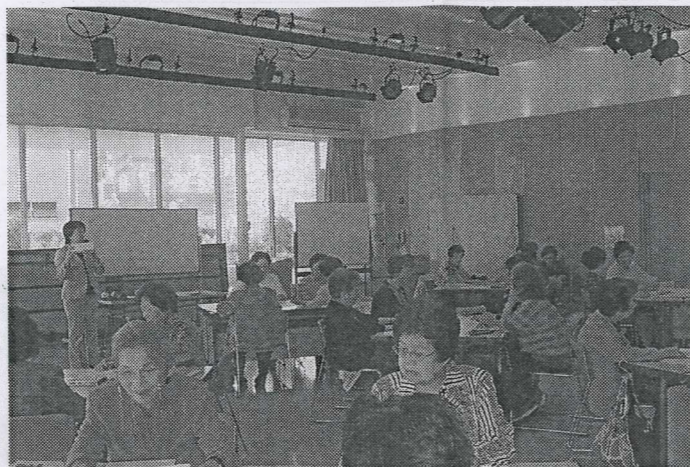


# 第3回研究専門委員会開く

10月12日開催 「話し合いをうまく進めるリーダーになろう」



各区会長・副会長41名が参加

「平成23年度大阪市地域女性団体協議会(市女性会)研究専門委員会」の第3回目が10月12日、大阪市立男女共同参画センター(クレオ大阪中央)において開催された。参加者は、前回と同様に、各区会長・副会長41名、

## 言葉が信頼関係築く

### 求められる「ファシリテーター」とは？

#### 研修概要

##### ★はじめに

(1) グランドルール(受講の際の約束)の再確認と名札づくり。  
(2) 講座を受けるにあたっての目的

「地域のリーダーとして貢献できる中心的な人材になる」ために、「自分らしいリーダー像を見つけて、グループ運営に不可欠な話し合いの進め方を身につける」ことを確認する。

(3) 「組織」と「自分」について、《変わりたい/変えたい》と感じているかを5段階でチェックする。

★わたしとリーダーに



あいさつする吉村市女性会会長

リーダーの役割を果たせるように、実際に女性リーダーも増えている。(2) リーダーとして必要なことは、「誠実」「信頼」。信頼関係を築くためには「言葉」である。メンバーに伝えるだけでなく、メンバーからの言葉を聴くことが不可欠である。(3) 今までのタテ型組織ではなく、ネットワーク時代のヨコ型組織においては、メンバーの力を引き出し束ねる「ファシリテーター型リーダーシップ」が求められる。★話し合いの進め方「場」をつくる。(1) 会議とは

会議とは「情報を共有し、計画を立て、課題を解決し、何かを決定するための組織を動かす共同作業」である。会議の種類

★リーダーとは (1) 「リーダー」というと、どうしても男性的なイメージがあるかもしれないが、女性も十分にリーダーになれる。



発行所 大阪市地域女性団体協議会  
大阪市天王寺区上汐5-6-25  
クレオ大阪中央内  
電話 06(6770)2440 番  
編集発行人 吉村八重子

「女性大阪」は女性の教養と地位の向上のためのものです。  
★女性の意見発表と交換の広場です。  
★市女性会のみなさんのものです。

題字は磯村隆文氏  
大阪市女性会ホームページ

<http://www.geocities.jp/shijyoseikai/>





森野和子講師

類には伝達会議・調整会議・決定会議・創造会議がある。

(2)会議を成功させるポイント

①一つの議題に全員が集中している②一つの議事運営方法に全員が同意している③司会者が中立の立場に立ってオープンでバランスの取れた発言を促せること④個人への批判はしない⑤出席者の役割が明確で全員がそれに同意していること。

(3)会議のデザイン10のステップ  
メンバーの意識を合わせ、参画意欲を高め成果をだしやすくするために、事前準備やルール作りが重要である。

会議の目的やテーマ、目標、やり方・スケジュール・時間配分、役割分

担、ルール・方針などを決め、全員で周知しておくことが大切である。

(4)机の配置例

話しやすい場をつくるために、机の配置も重要である。V字型、コの字型、鳥型、ロの字型、円卓型などがあり、簡単に試してみることでできる方法である。

(5)メンバーの参加

司会者だけでなく、メンバーも主体的な参加が不可欠である。①目標達成のためには司会者もメンバーも対等である②時間を大切にすること③素直に聴く④正確に聴く⑤自分

(6)司会者(ファシリテーター)の役割

## “6W2H”心がけて

### わかりやすく伝えるには…

の主張は遠慮しないで述べる、などの心構えが求められる。また、①資料には事前

に必ず目を通す②会議テーマについて自分なりの意見を持つ③会議の結果をどのように報告するか明確にする、なども必要である。

にわかりやすくなる。

★ふりかえり

今日の研修を受けて、気づいたこと、今後どんなときに使えそうか、をグループで意見交換。

以上で第3回市女性会研究専門委員会は定刻通り終了した。次回は11月9日に開催予定。

## 実践こそが課題

〈研修を受講して〉

今回は「リーダーに求められること」として身近なことを詳しく学習したので、研修内容が理解しやすかった。しかし、これを実践できるかどうかは今後の課題である。

を活用することで、

①メンバー全員を共通の問題に集中させる。②発言者を守り全員に発言の機会を与える。③中立的な立場であるとともに信頼されることであり、そのためにはどうしたらいいかを意識しなければならない。

また話し合いは「発散と収束のプロセス」を作ることが大切である。

(7)場の雰囲気づくり

最初に話しやすい雰囲気を作り出すことが重要である。アイスブレイク等でメンバーの緊張をやらわらせることで、その後の話し合いがスムーズになる。

★わかりやすく伝えるために

わかりやすく伝えるためには、ロジカル(論理的)さを意識すると効果的である。筋道が立っていると、聞き手もわかりやすく、話し手の説得力も増す。

6W2Hに気をつけながら伝えるだけでも、十分にわかりやすくなる。また結論から述べる、理由と根拠を示す、データ